

2019 年度 『第 1 回 近畿本部 修習技術者等支援セミナー』

2019 年度第 1 回近畿本部修習技術者等支援セミナー』を下記のとおり開催いたします。

当セミナーは、技術士補、技術士第一次試験合格者、JABEE 課程修了者、一般技術者、大学生など、技術士を目指される方を対象としており、「実務社会で活躍する優れた技術者である技術士」を目指すための支援セミナーです。みなさまのご参加を、心よりお待ちしております。

記

- 主 催** : 公益社団法人日本技術士会 近畿本部修習技術者支援委員会
日 時 : 2019 年 5 月 18 日(土)13:00~17:00 (17:30~19:30 懇親会)
場 所 : 公益社団法人日本技術士会近畿本部 会議室
〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1-9-15 近畿富山会館ビル 2 階
募集人数 : 定員 30 名【先着順】
参加費 : 資料代として、正会員・準会員 1,000 円 (非会員 1,500 円)
懇親会費別途 一律 3,000 円
申込期限 : 2019 年 5 月 14 日(火)
懇親会場 : 近畿本部近くの「壱屋 本町店」にて

2019 年度第 1 回 近畿本部 修習技術者等支援セミナー』参加申込書

2019 年 月 日

お名前	
所 属	
連絡先 TEL	
E-Mail	
<input type="checkbox"/> 技術士 (部門 : / 会 員 ・ 非会員)	
<input type="checkbox"/> 技術士補 (部門 : / 準会員 ・ 非会員)	
<input type="checkbox"/> 修習技術者 (専門 : / 準会員 ・ 非会員)	
<input type="checkbox"/> その他 (資格名 : ・ 学生)	
技術士第二次試験 受験予定科目	

【懇 親 会】 : 参 加 ・ 不 参 加

【申込先】公益社団法人日本技術士会近畿本部 事務局まで

FAX : 06-6444-3722 E-Mail : moushikomi@ipej-knk.jp

※ Email の方は、セミナー名、上記内容を記載して送付してください。

2019 年度

『第 1 回 近畿本部 修習技術者等支援セミナー』

主催 : 公益社団法人日本技術士会 近畿本部修習技術者支援委員会
日時 : 2019 年 5 月 18 日(土)13:00~17:00 (17:30~19:30 懇親会)
場所 : 公益社団法人日本技術士会近畿本部 会議室

【対象】

- ・ 技術士補、第一次試験合格者、JABEE 課程修了者
- ・ 技術士を目指される方、一般技術者
- ・ 技術士制度にご興味ある方
- ・ 企業・大学技術士会の会員の方も歓迎いたします

【内容】

1. 開会の挨拶 13:00~13:05
 2. 本研修会の目的および注意事項 13:05~13:10
 3. 特別講演「発想の転換による問題解決事例について」～応用能力に磨きをかけるために！～
鍵谷 司 技術士（衛生工学・建設・環境部門） 13:10~15:00
- * * 休憩 * *
4. DVD を元にグループワーク 15:10~16:10
 5. グループごとの発表 16:10~16:40
 6. 講評・総括・閉会の挨拶 16:40~17:00

17:30~ 懇親会 参加費 3,000 円で本音トークをしましょう！

【アドバイザー】 近畿本部修習技術者支援委員

- 河野 技術士（建設部門：鋼構造及びコンクリート）委員長
福岡 技術士（建設部門、総合技術監理部門：鋼構造及びコンクリート）相談役
天野 技術士（上下水道部門：下水道）副委員長
杉本 技術士（建設部門、総合技術監理部門：都市及び地方計画）事務局委員
大野 技術士（建設部門、総合技術監理部門：都市及び地方計画）委員
鍵谷 技術士（衛生工学部門：廃棄物処理、建設部門：建設環境、環境部門：環境保全計画）委員
黒田 技術士（電気電子部門、総合技術管理部門：電気設備）委員
中川 技術士（建設部門：鉄道）委員
中島 技術士（機械部門：流体機械）委員
間島 技術士（経営工学部門：包装及び物流）委員
森 技術士（建設部門：施工計画、施工設備及び積算）委員
横山 技術士（機械部門：加工・ファクトリーオートメーション及び産業機械）委員

特別講演「発想転換による問題解決事例について」

～応用能力に磨きをかけるために！～

技術士（衛生工学・建設・環境）
第一種放射線取扱主任者等
鍵谷 司（かぎや つかさ）

国・県等の公的立場で活躍する学識者、専門家あるいは専門業者による調査等で解明できなかった事案について発想転換による糸口・ヒントを模索し、全ての現象を合理的に説明できるメカニズムを想定し、実証試験等により解決した経験事例を紹介する。

応用能力を磨くためには、解決が難しい事案については視点を変える、つまり発想転換により道を切り開く柔軟な考え方が必要である。とくに、技術士には、単なる知識・物知りではなく、現場で起こる様々な問題を解決する能力が求められることに鑑み、最後に DVD「昭和30年代のごみ処理事情」を視聴していただき、感想、印象、発想等を200字以内でまとめていただきたい。

【13:10～15:00】

【事例-1】解決の糸口は「バーベキューの炭火は消え難い」:

「RDF 貯蔵サイロの発煙・発火に関する原因究明事例について」

※公式見解では「RDF が発酵発熱して自然発火」→発酵しない廃プラ燃料も発火！

※実際：RDF 成型時に部分的に焦げた火種や火災時の残さの投入が原因

【事例-2】解決の糸口は「古代ローマの石けん発見!」

「時々、激しく発泡する河川水の原因究明事案について」

※河川水、排水、下水接続等の水関係調査では発泡原因を突き止められず。

※発生状況、気象データ等から合成物質ではなく、自然に生成する金属石鹼か？

【事例-3】解決の糸口は「火のない所でも煙は立つ!」:

「プラスチック溶融物は水冷しても火源がなくても自然発火する？」

※一般的に水冷したプラ溶融ブロックが自然発火することはありません；

※200～300℃程度の低温域でも蓄熱すると自然発火することを究明

【情報提供と課題】

【情報提供；15分；最近のごみ処理事情について】

※ごみ問題は、環境・資源・エネルギー問題でもあり、全ての業種に共通。制度の推移と最新のごみ処理の実状をおおまかに紹介する。

【DVD；20分】アーカイブ「昭和30年代のごみと生活」

※アーカイブを視聴し、半世紀前のごみ処理から発想を広げると何か見えるか？

印象、感想、発想 -----！

以上